

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	五反田JPビルディング	階数	地上20F
建設地	東京都品川区	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	8,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2023年9月22日
敷地面積	6,711 m ²	作成者	畑 伸明
建築面積	4,769 m ²	確認日	2023年9月22日
延床面積	69,287 m ²	確認者	株式会社大林組一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 3.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	「TOKYO, NEXT CREATION」をコンセプトに様々な事業者と連携し、各用途が融合した多様な出会いと交流、新しい価値創造を促す次世代の街の拠点を目指した複合施設である。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・照明の自動制御により、室内環境の向上に配慮をしている。 ・十分な換気量を確保し、CO ₂ の常時監視を行う等、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。	・非常用発電設備の設置等、災害時の設備機器の機能維持を図り建物の信頼性の向上に配慮している。	・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・運用管理体制の整備により、エネルギーの効率的運用に配慮している。	・雨水・雑排水利用や節水器具の採用により、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材やユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・高効率な設備機器を導入により、CO ₂ 排出量の低減を図り、地球温暖化へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される